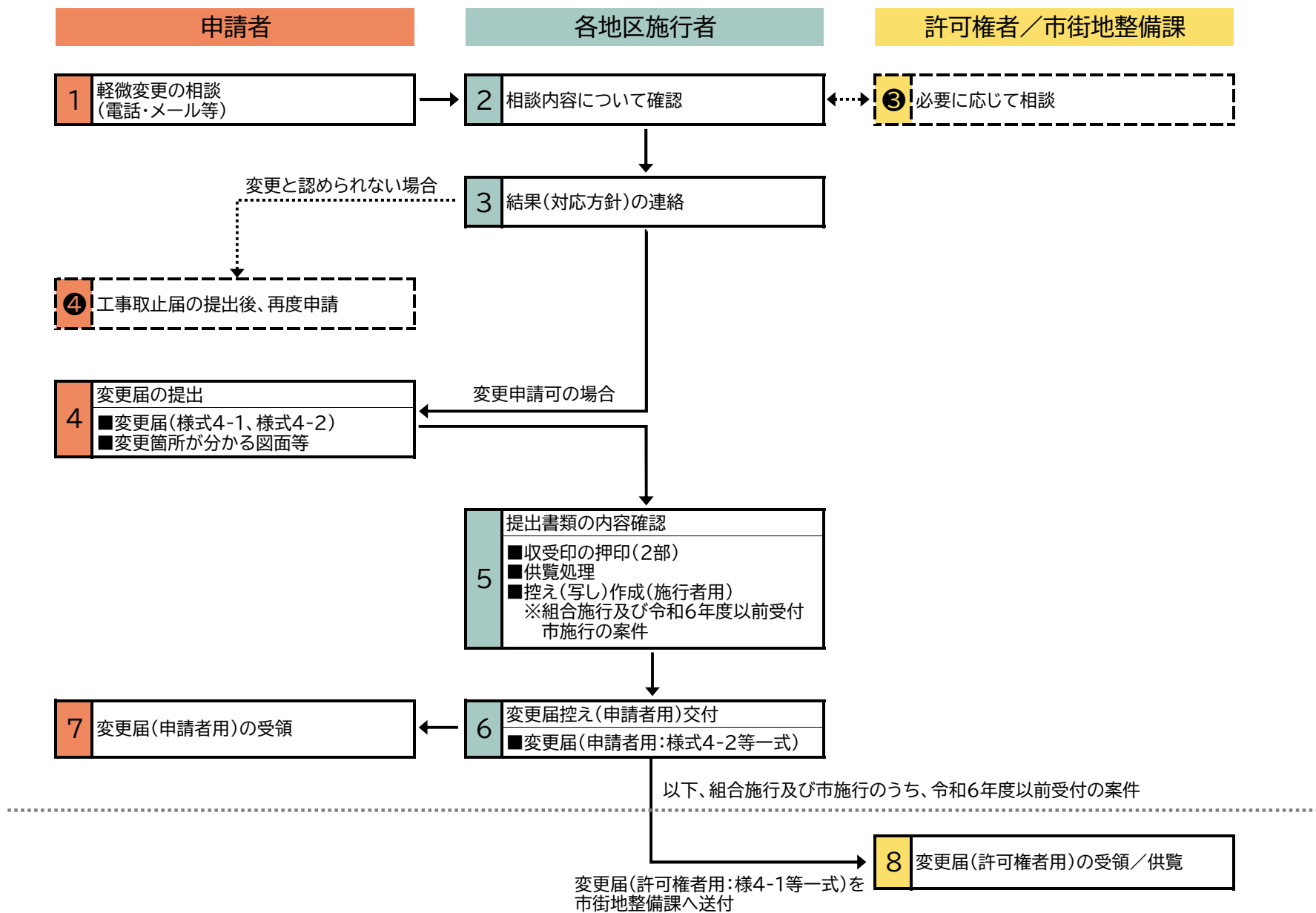


変更届



変更届の提出が必要な軽微変更とは、当初申請内容の規模、数量、位置等の変更を指します。

変更届提出の要否について、具体例は以下のとおりですが、各施行者に相談をしていただく中で、案件ごとに各施行者が判断をいたします。

	具体例
軽微な変更該当するもの (変更届の提出が必要なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・当初申請していたコンクリートブロック塀の延長の変更 ・工作物の種類の変更 (例: コンクリートブロック塀→地先境界ブロック) ・当初申請していた土間コンの施行範囲の変更で、道路や隣地境界まで及ぶもの ・造成高さの軽微な変更 (当初申請内容に造成が含まれておらず、新規に盛土をするものについては再度申請が必要) ・相続による申請者の名義変更 <p style="text-align: right;">など</p>
軽微な変更該当しないもの (再度申請が必要なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・当初申請に含まれていない申請行為 (当初工作物 (コンクリートブロック塀等) のみを申請していたが、変更で建築物 (住宅等) を追加で申請しようとするもの) <p style="text-align: right;">など</p>
変更届を要さないもの (手続き不要なもの) ※各施行者が必要と判断した場合は、手続きが必要となる場合があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕、ライフラインの引込み、当該土地区画整理事業の行為、将来管理者と協議済の道路構造物等、簡易な行為であるもの ・排水経路の変更 ・コンクリートブロック塀の高さの変更、既存コンクリートブロック塀へのフェンスの設置 ・建築物等の材質、規格の変更 ・可動式の工作物の設置等 ・許可通知後に分割を伴う仮換地変更指定による申請行為の場所の変更 ・工事着手・完了予定年月日の変更 ・誤記 (誤字・脱字等) の訂正 <p style="text-align: right;">など</p>

※ご不明な点がございましたら各施行者までお問い合わせください。